

緩和ケアチームニュース

～少量から使用できるトラマドールの1日2回製剤 ツートラム®～

速効性と持続性を併せ持ち、少量から開始できます

ツートラム®錠はトラマドール製剤のうち、速効部と徐放部を併せ持つことで、速やかな効果発現と持続的な鎮痛効果が得られる製剤です。他のトラマドール製剤に比べて少量から使用できるため、導入に向いています。



ツートラム®錠
25 mg



ツートラム®錠
50 mg

☆ツートラム®錠のメリットは？

- 1日50 mg（1回25mg）の少量から開始できるため悪心などの副作用リスクを軽減することができます。

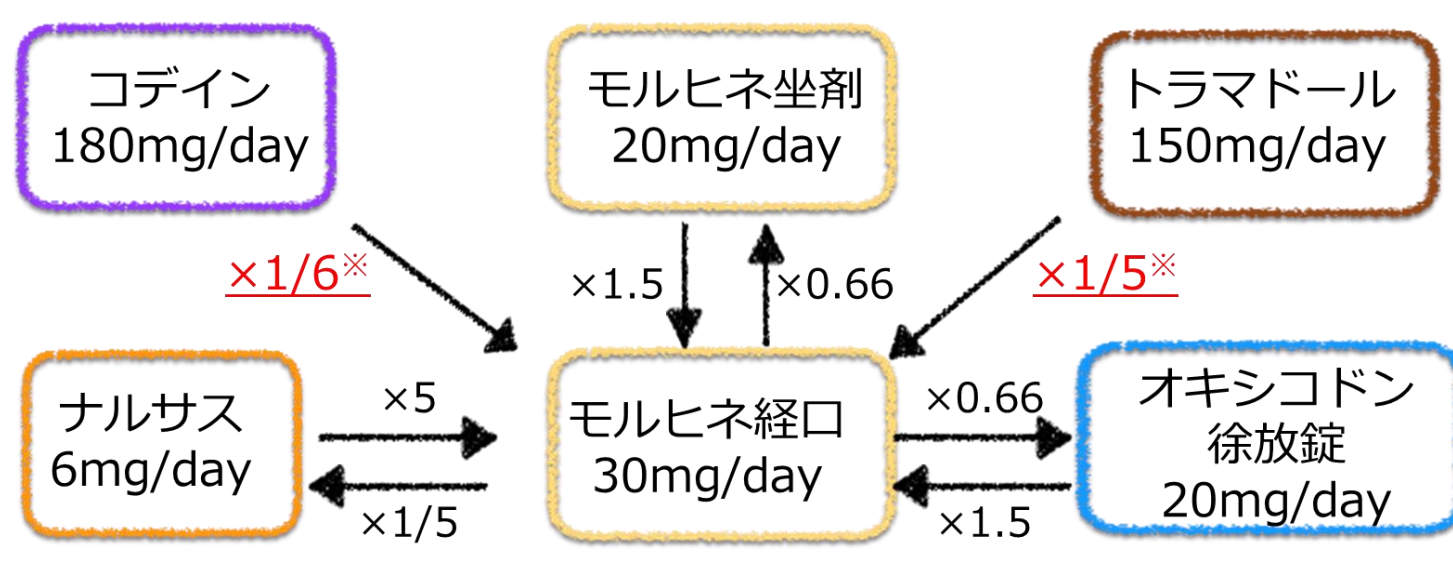
	1錠あたりの トラマドール含有量	最高血中到達時間	半減期	用法通りの使用回数
ツートラム®錠 25mg	25 mg	約1.4 時間	約8.5 時間	1日2回
トアラセット錠	37.5 mg	1～2 時間	5～6 時間	1日4回

☆トピックス 「トラマドールの位置づけ」について



- 各種ガイドライン（がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン、WHOガイドライン、ASCOガイドライン）において、三段階鎮痛ラダーの記載は削除されており、がん患者への投与を推奨していません。
- がん疼痛でNSAIDsやアセトアミノフェンの効果が不十分な場合は、基本的に少量の強オピオイド鎮痛薬の使用をご検討ください。
- 非がん疼痛の場合や、患者に医療用麻薬の拒否感がある場合など、強オピオイド鎮痛薬が適さない場合などでの使用が推奨されます。

《参考》トラマドール・コデインの換算に関する注意点



CYP2D6という代謝酵素が20～40%の患者さんで低下していることに関係しています



引用：当センターオピオイド換算表より一部抜粋 兵庫県マスコット「コバトン」

※トラマドール・コデインからのオピオイド製剤に切り替える際は、換算表より低用量で切り替えすることをお勧めします。
（一部患者で効果が減弱している可能性があるため）